

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市男女共同参画推進協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

基本事項

所管局課	文化市民局 共同参画社会推進部 男女共同参画推進課	本市出えん金	50,000	千円
基本財産／資本金	50,000	千円	本市出えん率	100
				%

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」

当欄では、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」において、外郭団体としての位置づけを「存続」するか、外郭団体としての位置づけを外れて「自律化」「解散」するかのいずれの方向性を決定したかを記載している。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

本市の出えん率引下げに向けた実施計画

取組内容	H30	H31	H32
	3月 定時理事会において引下げ方法決定	12月 臨時理事会において決議	4月 引下げの実行

2 今後取組を進めるうえでの「基本的方針」

当欄では、「今後の方向性」の実現に向けて、各団体が業務面、財務面、組織面及びその他の各分野ごとに取り組むべき課題等について記載している。

業務面	「第4次京都市男女共同参画計画」の重点分野である「DV対策の強化」や「真のワーク・ライフ・バランスの推進」などの講座・啓発活動を着実に実施していく。とりわけ、男女共同参画に興味を持つ学生や企業・学校・団体等と連携し実施することにより、京都市全体における男女共同参画の推進の加速化を図る。
財務面	京都市以外の自治体や大学、企業からの受託事業の増加等により、特定の収益に極端に依存しないバランスのとれた協会運営を目指す。
組織面	当協会の3つの基本姿勢である「支援」、「育成」、「提言」の下、より一層、簡素で効率的な組織体制を確立するために、柔軟な人員配置を実施し、組織風土の改善や活性化を目指す。
その他	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市男女共同参画推進協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

3 基本の方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「基本の方針」を実現するための具体的な取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成32年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標1「関係団体等との連携・協働による新たな共催事業の実施」

取組内容	男女共同参画の視点を持った関係団体等を新たに掘り起こし、団体との連携・協働の下、共催事業を企画、実施することにより、地域の男女共同参画推進の加速化を図る。					
○指標	新たな共催事業の実施					
採用理由	男女共同参画の視点を持った関係団体等を新たに掘り起こし、協働で事業を実施することにより、多様な主体による男女共同参画推進に係る取組を進めることができる。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位:回)
	0	0	1	2	2	
実現方法	男女共同参画の視点を持った関係団体等の情報収集を行い、効果的な事業展開が期待できる関係団体等に対して、相乗効果の生まれる企画の提案を行う等、新たな共催事業の実施に向けて働きかけていく。					

目標2「若年層との協働事業の実施」

取組内容	若年層に焦点を合わせた事業の展開により、男女共同参画の加速化を目指す。 若年層を対象としたデートDVや性暴力をテーマに講座を実施するほか、男女共同参画に興味のある学生を企画に参画させて啓発や講座を実施することで、男女共同参画の視点を持った人材を育成するとともに、これまで届けられなかった若年層への啓発を強化する。					
○指標	啓発誌の発行及び講座の実施					
採用理由	男女共同参画の加速化には若年層を巻き込むことが効果的である。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位:回)
	0	1	1	2	2	
実現方法	男女共同参画に興味を持つ大学生と企画段階から協議を重ね、若年層の視点を盛り込んだ「男女共同参画通信」の協働発行を実施する。また、発行物と連動した講座を大学生と協働で実施する。					

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市男女共同参画推進協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

(2)財務に関する取組

目標「特色を生かした受託事業等の充実による収益増加」						
取組内容	自律化に向け、今まで以上に自主的・自立的な経営を目指し、当協会の特色を生かした収益事業の実施・拡大、寄付金の獲得などによる自主財源の確保に取り組む。					
○指標	京都市指定管理料以外の受託事業・自主事業・助成金・寄付金等の収入金額					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	36,291	37,500	38,000	38,500	39,000	

(3)組織に関する取組

目標「組織体制の強化」						
取組内容	さらなる経営改善を推し進めるため、理事会を中心とした執行体制の強化に向けて、業務運営の中核となる業務執行理事を増員し、業務執行理事会の開催回数を増加するなど管理運営機能の一層の充実を図る。 理事会で議論された経営方針等は、職員に周知し、全体で共有することにより、一丸となって経営改善に取り組む組織風土を構築する。					
○指標	業務執行理事会の開催回数					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：回)
	3	2	3	4	4	

4 中期経営計画に対する意見

団体が作成した中期経営計画に対する、所管局の意見を記入します。	
所管局	事業においては、これまで長年に渡り蓄積してきたノウハウを活用しながら、新たな視点から課題を設定し、内容の充実を図ろうとするものであり、着実な実行を期待する。 また、自律化に向けて、安定した経営を確立し、ガバナンスを強化することは重要であることから、指標として掲げた項目以外にも、経費の節減・見直し、組織風土の改善、生産性の向上など、絶えず努力を重ねていただきたい。